【禁忌・禁止】
（適用対象）
・眼の再発用
（併用薬品製造）
・診断器・検査機器と併用
（性状の変化や故障の防止）
（使用方法）
・本装置は防爆型ではないので、装置の近くで易燃性
及び爆発性の気体を使用しないこと
（爆発又は火災の起こすおそれがある。）

【形状・構造及び原理等】
1. 構成
1) プローブ
2) タブレット表示器
3) タブレット表示器充電用アダプタ（患者環境外で使用）

2. 電気的定格
1) プローブ情報
定格電源電圧：DC5V（タブレット表示器の出力電圧）
電流に対する保護の形式：内部電流制限器
電流に対する保護の形態：RF形充電器（超音波照射器）
2) タブレット表示器情報
メーカー名：ASUSTeK Computer Inc.
タイプ（型式）：K008
定格電源電圧：DC5.2V（タブレット表示器充電時のタブレット
表示器充電用アダプタからの出力電圧）
電気的安全性：JIST0601L-120適用（患者環境外で使用する
場合ではJISC6950適用）
EMC：JIST0601-1-2適用
3) タブレット表示器充電用アダプタ情報
メーカー名：Lite-On Technology Co., Ltd.
タイプ（型式）：PA-1070-07X（X can be A-Z、0-9 or
blank）
出力：DC5.2V、1.35A
電気的安全性：JIS6950適用又は電気用品安全法で定める
技術基準に適合
EMC：CISPR22/24、VCCI適合又はJIS5014/JIS5022適合
※ここに示す「2タブレット表示器情報」の「メーカー名」、「タイプ
（型式）」、「定格電源電圧」及び「3タブレット表示器充電用
アダプタ情報」の「メーカー名」、「タイプ（型式）」、「電気的定格」は、
一例を示すものであって、相当する他の汎用品を使用する場合に
はご参照の例と一致しない場合がある。

3. 作動原理
プローブの全振動子の内、連続した複数の振動子を1プロックと
してはほぼ同時に送信を行うことにより、各振動子より発生する
超音波は1つに合成されて、この複数の振動子の中心から超音
波ビームが発射されたものと同様の効果を示す。第1のビームの
送受信が終わると、第2のプロックの振動子をそれぞれずらして
送受信を行い、第2の超音波ビームを得る。第2のビームの中心
は第1のビームに対してずれたことになる。同様に、振動子プロッ
クをずらしながら送受信を行うことにより、複数の超音波ビームが
得られ、これを重ねることにより送受信を形成させる。
以上のようにして得られた超音波ビームをスキャン変換し、タプ
レット表示器に画像表示されている。
本章はある画像表示モードはBモードで、上記の方法により複
数の超音波ビームから形成した断層像を表示するモードである。
電子束検査はコンペックス推査法であり、プローブから超音波
ビームを放射状に発射して、被検体の断層面を描出する方法で
ある。
4. 超音波プローブ仕様
3.5MHz コンペックスプローブ Bモード

【使用目的又は効果】
超音波を用いて体内の形状、性状又は動態を可視化し、画像情
報を診断するのに用います。

【使用方法等】

【使用上の注意】
本装置は医師向け医療機器であるため、医師による使用又は医
師の指示に従って使用すること。使用上の注意の詳細については、
取扱説明書を参照すること。
1. 以下の症状のある患者、又は疑いのある人には医師又は医療従
事者の監視の下で使用していただきます。
・ベーシャース等の体内埋込み型電子機器を装着している患者
・人工心肺等の生命維持用電気機器を装着している患者
・電気計等の装着薬用電気機器を装着している患者
・血友病患者
・伝染性肝炎患者
・その他、医師が使用にあたって、慎重を要すると判断した患者
2. 重要な基本的注意
・本品の脇貼り携帯電話、無線機器、電気メス、除熱器等、
高圧波を発生する機器を近くにつけること。
【本体】
・本品の性能の維持、安全性の確保のために、始業点検を必ず
行ってください。トラブルや異常が認められた場合はただちに使用中止し、当社お客様窓口までご連絡ください。

【本製の機能が発揮されません。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。】

・タブレット内は常温で蒸発させることで、内部の温度が上昇し、火災の原因となります。

・無駄な消費を防ぐために、タブレット内の液体を適量まで使用してください。

【感電や故障の原因となります。】

・濡れた手でタブレットを接続しないでください。

【感電や故障の原因となります。】

・使用時のタブレットは、帯電防止ゴムで洗浄してください。

【感電や故障の原因となります。】

・使用後のタブレットは、アクセサリーを外し、乾燥させてから保管してください。

【感電や故障の原因となります。】

・故障や誤作動の原因となります。

・製品の処理方法についての注意事項を参照してください。

・製品の取扱い・保管方法についての注意事項を参照してください。

【感電や故障の原因となります。】

・製品の取扱い・保管方法についての注意事項を参照してください。

【感電や故障の原因となります。】

・製品の取扱い・保管方法についての注意事項を参照してください。

【感電や故障の原因となります。】

・製品の取扱い・保管方法についての注意事項を参照してください。

【感電や故障の原因となります。】

・製品の取扱い・保管方法についての注意事項を参照してください。